



なぜ、脱炭素に取り組むことが 地域活性化につながるのか

2023.8.31

NPO法人エコリテラシー協会

脱炭素と地域活性化



なぜ、脱炭素に取り組むことが 地域活性化につながるか？

言い換えると、

地域活性化・地方創生の政策及び取組に
おいて、脱炭素にどのように貢献しているのか

となる。



何をもって、脱炭素に取り組むことが地域活性化につながったと言えるか？

経済波及効果

域内経済循環

雇用創出

ブランド価値向上

健康寿命延伸

地域コミュニティ

具体的貢献はどのような政策・結果なのか

Q、なぜ、自治体（特に地方）は地域脱炭素を進める？

現在

- 人口減少・少子高齢化
- 過疎化・老朽インフラ
- 産業衰退、雇用減少

地方創生の取組

これから

- 地方は自然エネルギーが豊富
- 地域内エネルギー循環＞収入増
- 再生エネルギー雇用増
- 脱炭素による産業再生

脱炭素の取組

地域で脱炭素化を進めることが「雇用増・産業再生・循環経済」を生み出す可能性がある。

地方創生の実現に寄与する



**地域活性化・地方創生の
政策及び取組において、
脱炭素に貢献している事例・取組を紹介
結果、どのような効果に繋がっているか**

**脱炭素が地域活性化・地方創生に
貢献していることをご理解いただける。**



脱炭素と一緒に連携する政策及びキーワード

観光

健康

農林業

雇用

交通

教育

企業

財政

まちづくり

防災

DX

スポーツ

その他多数あり

いくつか“脱炭素×〇〇”の事例・貢献・効果を考えてみる



ヒト

脱炭素×

- ・健康・ウォーキング
- ・教育➢脱炭素教育
- ・行動変容・啓蒙
- ・ブランド価値向上

モノ

脱炭素×

- ・海洋プラスチック削減
- ・天然産品開発
- ・廃棄物のリサイクル化
- ・シェアリングエコノミー

コト

脱炭素×

- ・体験コンテンツ造成
- ・ボトルレス行動変容
- ・交通インフラ
- ・DX・プログラミング教育

カネ

脱炭素×

- ・企業版ふるさと納税
- ・人材制度の活用
- ・エネルギー収益増加
- ・Jクレジット化➢収益

Q、なぜ、企業は脱炭素経営に舵を切る？

これまで

- 社会にとって良いこと！
- 褒められる！

加点要素



今・これから

- やることが当たり前
- リスクを理解していない

減点要素

脱炭素化を進めない企業は「取引先・投資家・顧客支持」を失う時代

✳ さいごに

地域で脱炭素を浸透させるには、地域住民・中小企業への“気候危機インサイト”を把握すべき

地域住民に、「脱炭素しましょう」と伝えてもイメージが沸かない

**地域住民・中小企業が「自分事化できる
言語・キーワードに変換」することが肝要**

- ①地域住民・中小企業の脱炭素領域におけるアセスメント(インサイト調査)
- ②×脱炭素➤SDGs・防災・住民裨益など、自分事化できるテーマセミナー実施
- ③楽しみながら参加できるワークショップ・理科実験等、コミュニケーションの場を活用した地域住民・中小企業への啓蒙実施
- ④中小企業、家庭等のエネルギー診断による可視化及び自治体エネルギー可視化
- ⑤地域住民・中小企業を対象とした、行動変容施策の展開
- ⑥インサイトの事後動向確認調査
- ⑦次なる施策への、調査結果に基づく施策立案（PDCA、EBPM）

社会



環境



文化



経済



- 現 状 : As Is(そのまま)ではなく
- になりたい姿 : Want to Beの実現
- 具体 行動 : To Do(何をする)

自治体と地域の未来を創造していく